

よい環境で鋭気を養う

J2サッカーチーム続々と大津町キャンプ

J2リーグサッカーチームが相次いでシーズン開幕前のキャンプを町運動公園で行いました。

ツエーゲン金沢在籍中で以前口アッソ熊本に在籍し、副キャプテンの経験もある廣井友信選手は、「人工芝も整備され、以前にも増して環境が良くなった施設に感動した。1年間戦う準備が大津町でできてうれしい」と熱く語っていました。1月にはレノファ山口、2月にはツエーゲン金沢、コンサドーレ札幌が汗を流しました。



町運動公園でキャンプのプログラムをこなす
ツエーゲン金沢の選手の皆さん

鬼はそと！福はうち！

陣内幼稚園 毎年恒例「節分豆まき」

節分の豆まきが2月2日に陣内幼稚園の同運動場で行われました。少し肌寒い天気の中、園児らは手作りの鬼のお面と豆いれを持ち、交互に鬼チームと豆まきチームに別れて豆まきを楽しみました。

途中、大きな大人の鬼も登場し、逃げ惑う園児も。最後には全員で豆をまき、大人の鬼を退治し、鬼と「大人の言うことをきちんと聞くこと」などを約束。室内に戻り、年齢の数だけ豆を食べて、みんなで今年の健康を祈りました。



自分たちの作った鬼のお面をかぶり
大人の赤鬼に立ち向かう園児たち



「人と人がステキにつながるお手伝い」



「大津町ボラフェス2018」が2月18日に町老人福祉センターで行われました。これは大津町ボランティア連絡協議会と町ボランティアセンターが共同主催として行ったものです。同協議会に加盟するボランティア団体の活動を町民の皆さんに広く周知すると同時に、活動をする団体、人同士がお互いに交流を持って欲しいと今年初めて企画されました。

当日はそれぞれの団体同士や、子どもたちや高齢者などさまざまな交流が生まれ、会場は賑わっていました。

イベントの前日(2月9日～16日)までイオン大津店では同協議会加盟団体の紹介パネル展なども行われました。

12ステージイベントでは楽器の演奏や日本舞踊をはじめ、落語や手品など町内のさまざまな団体の発表でにぎわいました。3伝承遊びのコーナーでは「竹ぼっくり」や「竹とんぼ」などの実演が行われ参加した子どもたちは興味津々。4パネル展も同時開催されていました。

大津町の社会福祉に大きく貢献

平成29年度熊本県社会福祉功労者表彰

「平成29年度熊本県社会福祉功労者及び団体等知事表彰式」が、2月8日に県庁で行われ、社会福祉に貢献した、3人と1団体が表彰されました。



●ボランティア(個人)
よしのようこ
吉野洋子さん

高齢者および障害者施設で読み聞かせボランティアを19年以上行っている。また、ブックスタートなどの活動などを通じ、町の子育て支援・福祉に貢献。



●社会福祉事業施設の職員
ふじもとようこ
藤本葉子さん

大津町社会福祉協議会に15年以上勤務し、通所介護事業所の調理員として、利用者の栄養管理を行い、高齢者福祉に貢献。



●ボランティア(団体)リコーダーアンサンブル トキコロ
音楽ボランティア団体。平成16年に結成後、13年以上福祉施設などで活動、町の子育て支援・福祉に貢献。



●社会福祉事業関係団体の役員
うえのすみこ
上野スミ子さん

大津町身体障害者福祉会に18年以上従事。長年に渡り副会長と文化部長を兼務し、カラオケ教室や歌謡祭の責任者も務めるなど、障害者福祉に貢献。

企業と行政の思いをひとつに

平成29年度大津町企業と町行政との懇談会

「平成29年度大津町企業と町行政との懇談会」が1月26日に町内企業69社からなる大津町企業連絡協議会の主催で開催されました。今年度は町内の企業と町、県庁、大津警察署など、合わせて57人が出席し、町行政に対する要望に対して行政側が経過報告などを行いました。



会では活発な意見が飛び交っていました

安全で安心な企業を目指す

(株)サトウロジックの新倉庫が完成

平川地区に(株)サトウロジックの新しい倉庫(第3倉庫棟)が完成し、1月22日に竣工式が行われました。

同社は、平成20年に大津町に本社を構え、主に輸配送サービスや倉庫での物品管理を行っています。

式の中で、佐藤栄磨社長は「お客様のニーズに応えることのできる、効率の良い物流サービスをこれからも提供していきたい」とあいさつしました。



竣工式に集まった皆さんと佐藤社長(前列左から4番目)